

平成30年度 志・土佐学びの日 次世代の「志」応援コンクール

公民館ふるさと教育推進部門

フィールドワーク(地域学習)を通じて学んだ『志』

土佐清水市からの発信

～中浜万次郎の足跡～





表附番節經國諸

(1822年) 年五政文

参考・文政五年(1822年)の諸国節番付

大関・清水節(東方・土佐)、役島節(西方・薩摩)  
 閑座・宇佐節(東方・土佐)、御崎節(西方・土佐)  
 小結・福島節(東方・土佐)、須崎節(西方・土佐)

司行	大関・清水節
産同繁	閑座・宇佐節
波捷阿	小結・福島節
切栖管	須崎節
田大由	大関・清水節
浦島清	閑座・宇佐節
方話世	小結・福島節
四把伊	須崎節
五天宇	大関・清水節
魚草津	閑座・宇佐節
元進勅	小結・福島節
紀州	須崎節
加日	大関・清水節
太向	閑座・宇佐節

「諸国節番付表」「高知県の歴史」山川出版 P.227

江戸時代に、紀州印南浦(現和歌山県日高郡印南町)の甚太郎という人物が燻製で魚肉中の水分を除去する燻乾法(別名焙乾法)を考案し、現在の荒節に近いものが作られる様になった。

焙乾法で作られた荒節は、熊野節(くまのぶし)として人気を呼び、土佐藩は藩を挙げて熊野節の製法を導入したという。Wikipedia 土佐清水市郷土史同好会

長男 中濱 東一郎 著「中濱 嵩次郎傳」より

(昭和11年発行)

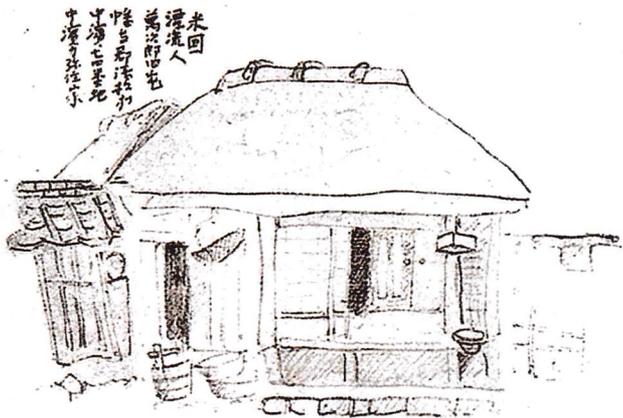
◎米搗きの工夫～記念の石臼

万次郎が実父悦助を失ひしは、9歳の時なりしが、当時其家は極めて貧なりしかば、十歳を越ゆる頃より彼れは常に中ノ浜其他付近の村々に出でて、他人の手伝いをなし、僅かの賃銀を得て家計を助けたり。或時雇われし家にて米搗きを命ぜられたることありしに、彼れは速く搗き上げんが為め、密かに米の中に一掴みの砂利を混へたり。これによって米は案外速く且つ白く搗き上げたが、後に至り米の中に砂利の多きことを発見されて痛く叱責されたることあり。然るに其後 米を搗かせられし時、又しても同じ過ちを繰返したれば、雇主は懲らしめの為め彼れを庭前の立樹に縛りつけて、数時間放置したり。

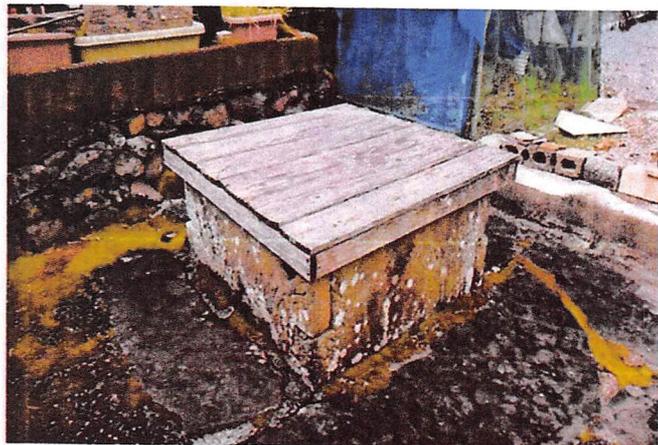
此時に近所の人々の訛言によってやうやう釈放されたれど、負けぬ気の万次郎は心中深く雇主の無情を憤り、将来必ず出世して此恥辱を雪がんことを誓ひたりといへり。

これ彼れが12、3歳の時の事なるが、彼れが後年の負けじ魂は早くも其少年時代に胚胎することを語る逸話として興味あるを覚ゆ。

(注) 当時万次郎が米を搗くに用ひたる石臼は、中ノ浜の今津鶴次郎方に保存され、昭和4年東一郎が次男清と共に中ノ浜を訪へる際、親しく同家に赴いて見せしが、其後今津氏の好意によって中浜家に寄贈せられ、万次郎贈位記念碑の側に安置することとなれり。図に示すが如く、小形なる円形の石臼にて高さ1尺5寸、口径約1尺あり。

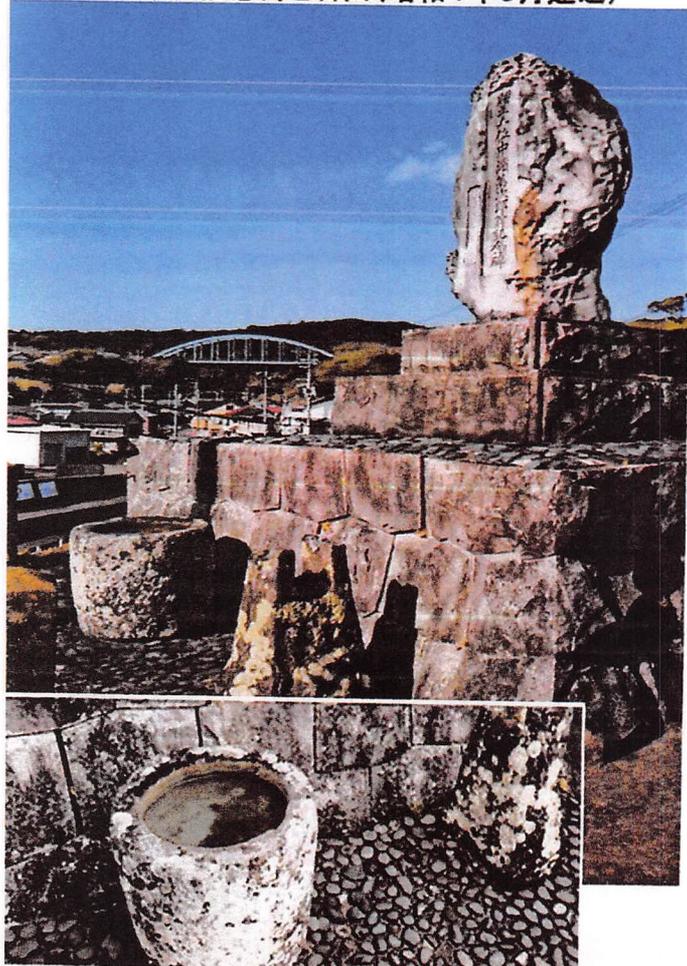


米回漂流人(中濱)萬次郎旧宅 高知県立歴史民俗資料館、版 寺石正路の足跡ヨリ



万次郎が使用していたと伝えられている井戸

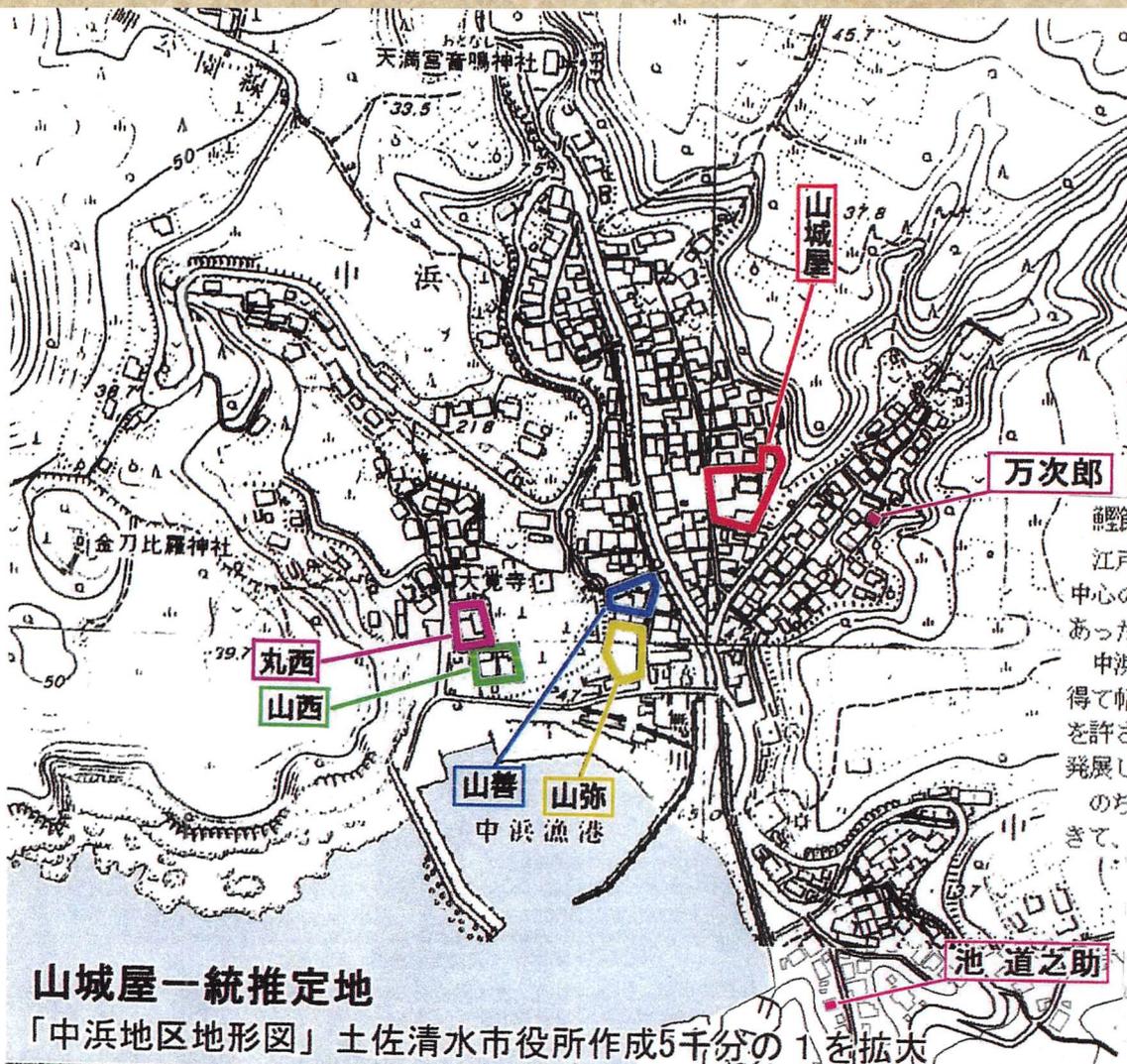
万次郎贈位記念碑と石臼(昭和4年5月建之)



万次郎が米を搗くのに持ちいた石臼

### 「中浜浦略図」

山城屋一族は、川東・川西  
西納屋にあり、その付近に  
節納屋を持っていた。  
「中浜浦略図」  
（『土佐のかつお一本釣り』  
西川恵与市 著 所収）  
雇用されていた漁師は谷前  
川東に集中して住んでいた  
という。 「黒原 - 寿」 copy



鯉節工700人の山城屋  
江戸時代 藩政 中後期に鼻前七浦の  
中心の中浜に、鯉節で有名な山城屋が  
あった。  
中浜在住の袋屋が、酒屋株の権利を  
得て幅広く商業活動をした。苗字帯刀  
を許され、鯉船や回船を持ち、大いに  
発展した。  
のちに この中浜に山城屋が台頭して  
きて、儀右衛門は使用工700人を雇い、  
鯉節を製造して、春日丸に  
積んで遠く江戸や大坂（現  
大坂）に送り、船号にちな  
んで「春日節」と称せられ  
るまでになった。

『高知県の歴史散歩』  
（山川出版社発行）ヨリ

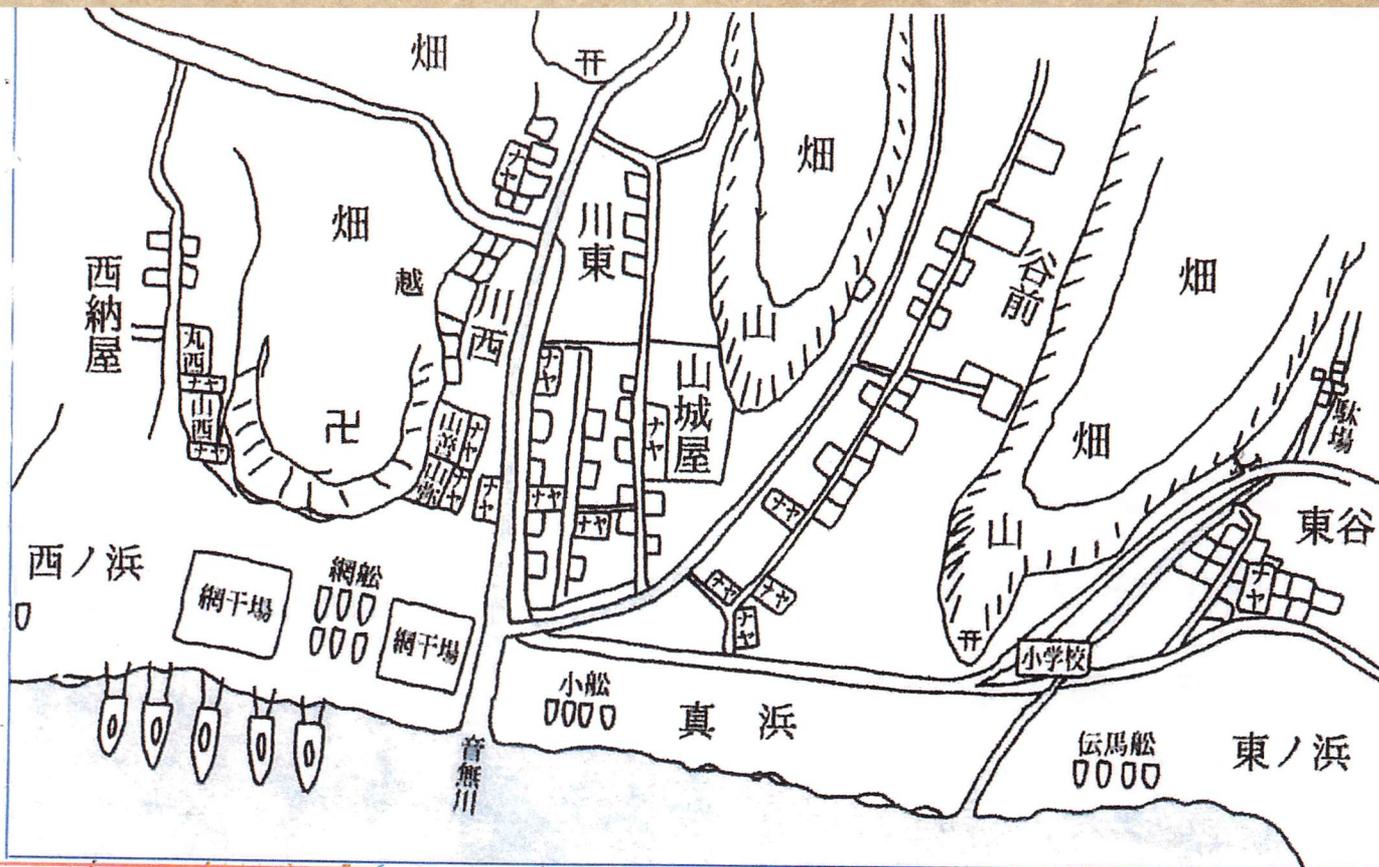
### 山城屋一統推定地

「中浜地区地形図」土佐清水市役所作成5千分の1を拡大



平成30年

国土地理院地図 土佐清水市中浜地区航空写真



国土地理院地図 土佐清水市中浜地区

# 激動の時代が万次郎を 必要とした。

・・・帰還後の万次郎の活躍

## ジョン万スピリット

(ハバキブアップ・チャレンジ精神) ジョン万はここがすごい

漂流・無人島での過酷な状況にもあきらめない

漂流 7 日間、無人島 143 日間、帰国まで 10 年間  
逆境をチャンスに・・・チャレンジ

未知の国に渡り 言語・文化・技術を習得

諦めない、挑戦することの大切さ

## 西洋事情・文化の紹介

帰国の際の取り調べに於いて、西洋（米国）事情・文化・  
文物を紹介

長崎 鈍通子記録：漂流記、 土佐 河田小龍記録：漂翼紀畧

長崎・上海に同行し、米国の文物を聞き取り描く

池道之助スケッチ

徳川幕府・土佐藩・薩摩藩の藩主や要人と会談。

学問所で多くの若者を指導。

※土佐藩・幕府・薩摩藩で教授に。

※明治新政府により東大の前身・開成学校の教授に。

※国際法・国家・領土の概念、自由・平等の精神。

※黒船来航・開国・大政奉還と激動の時代をきた者たちに直接・間接  
に驚きと大きな影響を与え、明治維新へのうねりとなった。

# 桁違いの文明、世界の広さ

## 長崎奉行所の取り調べ（鈍通子記録・・・漂流記）《概要》

- ①. 出漁から遭難まで ②. 漂着した無人島での過酷な生活
- ③. アメリカ船による救助
- ④. ワフ国（ハワイ・オアフ島）の生活・風俗
- ⑤. 万次郎は米国へ ⑥. 米国の風俗
- ⑦. 捕鯨船に乗り組み世界の海を航海 ⑧. カリフォルニアで金採掘
- ⑨. 琉球へ上陸し薩摩、長崎へ

## 土佐藩の取り調べ（河田小龍記録・・・漂翼紀畧）《概要》

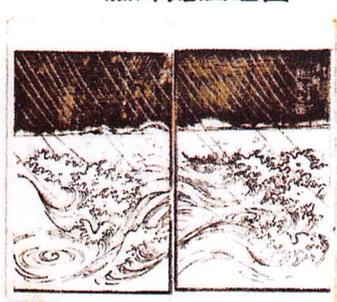
- 第一巻 ①. 出漁から漂流 ②. アメリカの捕鯨船に救出、ハワイへ  
③. 万次郎だけアメリカ本土へ
- 第二巻 ④. ハワイでの伝蔵ら4人の様子 ⑤. 重助の治療 帰らぬ人となる  
⑥. 傳蔵と五右衛門兄弟は捕鯨船で一度蝦夷に上陸するハワイにも引き返す
- 第三巻 ⑦. アメリカ体験記 勉強 ⑧. 捕鯨で世界をめぐる  
⑨. カリフォルニアのゴールドラッシュ 金山で帰国資金を稼ぐ
- 第四巻 ⑩. 万次郎はハワイで 傳蔵、五右衛門を促し一緒に帰る。寅右衛門はこの地に残す  
⑪. 万次郎等、帰朝船上の人となる ⑫. 三人、摩文仁の地に上がり、泡盛を飲む  
⑬. 琉球を発ち、薩摩に向かう ⑭. 長崎に送られ絵踏みをさせられる  
⑮. 土佐からの迎え長崎にいたり、三人それぞれの故郷へ帰る

## 長崎・鈍通子のスケッチ・・・漂流記

漂流記表紙



漁師難風之図



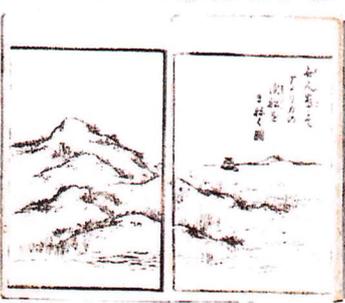
トヲクロ鳥



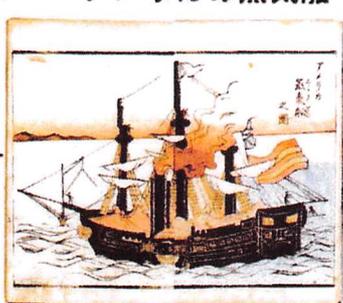
トヲクロを取喰



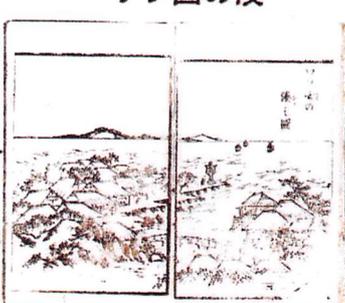
アメリカの漁船をまねく



アメリカの蒸気船



ワフ国の湊



ワフ国の田芋



『大日本土佐国漁師漂流記』はペリー来航の嘉永六年（1853）に出版された中浜万次郎の漂流記である。絵入り彩色の木版刷り B6版32頁で、奥書によれば「肥前長崎の鈍通子記・滄浪軒蔵板」となっている。当時の一般的な木版の出版部数から推察すると、おそらく200部程度は印刷されたものではないかと思われる。

土佐史談 257号「中浜万次郎」特集号より。東近 伸

# 河田小龍のスケッチ・・・漂異紀畧

土佐藩での取り調べ時  
小龍が書いた私的な記録

万次郎（25歳）



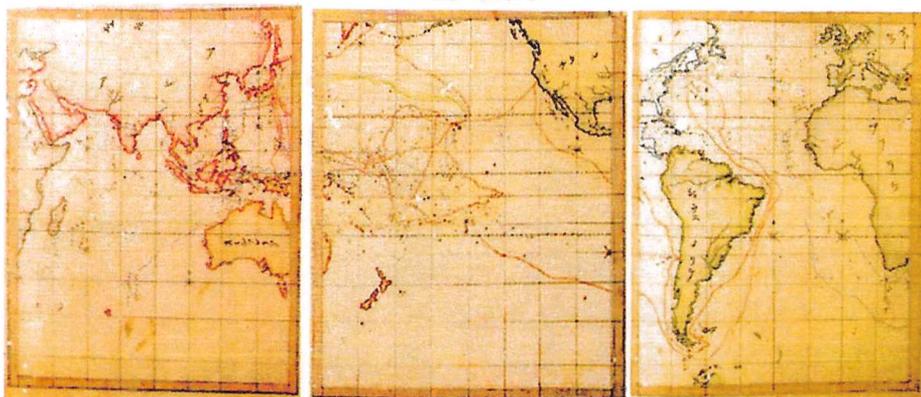
伝蔵（船頭：40歳）



五右衛門（26歳）の肖像画



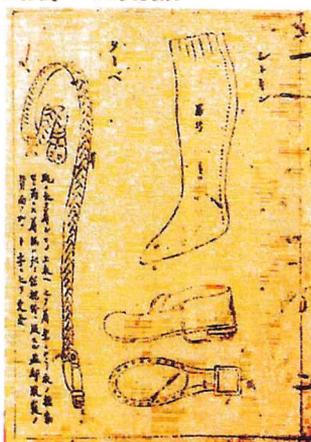
世界地図



トクロー



衣類・日用品



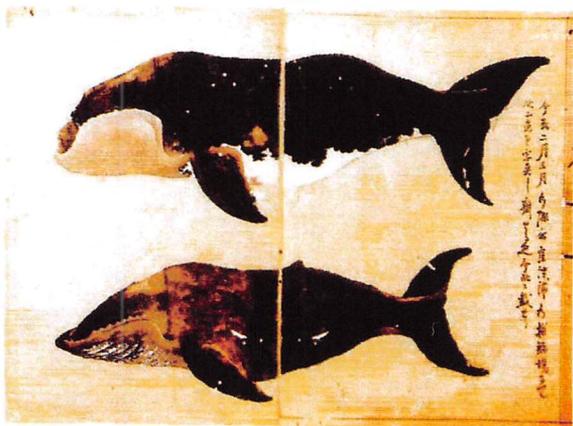
船具



船



鯨



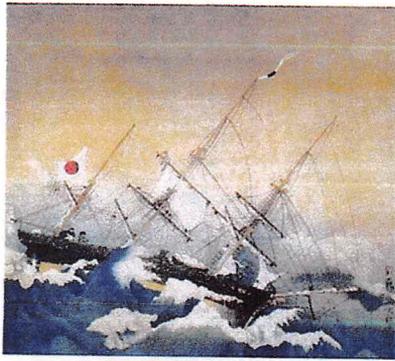
レイロー（鉄道） 図は四枚有るが此所に三枚



# 威臨丸

## 《威臨丸で渡米》

※ 日米修好通商条約Jの批准交換のための使節団（正使：新見正興）らは米国船ポーハットン号に乗船、威臨丸はブルク大尉の指揮の元航海演習のため随行した。

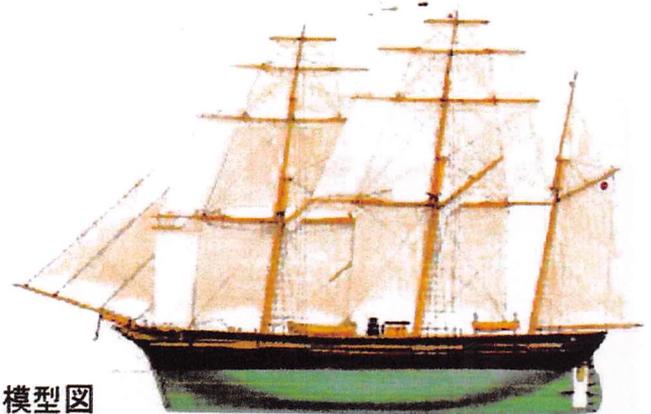


鈴藤勇次郎作『威臨丸難航図』

※ 威臨丸の艦長として勝海舟、万次郎も通弁方とし、福澤諭吉は木村摂津守（奉行）従者として渡米した。

※ 出帆後、来しけの日が続き、ジョンブルツタ大尉の指揮下万次郎が事実上の船長に、無事サンフランシスコに入港。

※ 万次郎は「図説米国海軍史」  
「米国海軍南半球天文調査書」  
「図説米国史」「物理学入門」  
「機械工学」「代数学原論」  
の書を購入した。



威臨丸の模型図

## 造船・航海術・測量術等の指導

米国で学んだ知識を生かし、洋式船の建造、購入等で活躍

- ※ 江川太郎左衛門の下 洋式船を建造。
- ※ 土佐藩 初の蒸気船「南海丸」を購入、上海で土佐藩の船 三艘を購入。
- ※ 長崎で薩摩藩船を購入。
- ※ 航海術・測量術等を指導
- ※ 幕府・土佐藩の軍艦所指導

## 捕鯨術の指導

米国での経験を生かし、近代捕鯨を指導

- ※ 鯨漁御用拝命 小笠原へ出漁
- ※ 壱番丸で捕鯨 日本における初めての洋式捕鯨船（鳥島上陸”大日本属島 鳥島”の乾板）
- ※ 小笠原島の日本領確定・・・国家・領土の概念  
多国籍の移住者に小笠原島での生活を保障、  
12カ国に日本による管理・直轄とすることを通知。

ホーツン事件（万次郎が雇った外国人が強盗未遂事件を起こし、米国へ幕府が賠償金を支払った。）  
文久三年四月（1863年）。万次郎はこの事件以降 幕府の仕事から 薩摩や土佐藩の仕事をする。

[いつも国の為を思う万次郎にとって、何故か幕府に疑われている事が 堪え難かったか 中濱 博 著]



# 万次郎が影響を与えた人々

## 土佐藩

坂本龍馬 (1835~1867年)



龍馬と万次郎が直接会ったかどうかは不明である。画人・河田小龍が万次郎より聞き、書き表した漂異紀畧を読み聞き、国際法・国家の概念等に大きく影響を受けたと思われる。そして、「船中八策」大政奉還へと動く。

後藤象二郎 (1838~1897年)



土佐藩 吉田東洋の甥。万次郎が講じる開成館を設立。万次郎の同行を得て、長崎・上海に行き、汽船・帆船を購入。山内容堂の名代となり将軍 徳川慶喜に大政奉還を進言。

その他



岩崎弥太郎、吉田東洋、山内容堂、板垣退助

開成館関係 後藤象二郎らによって設けられた土佐藩の機関。

松井周助、由比畦三郎、細川潤次郎

慶応2年(1866年)、土佐藩の開成館設立にあたり、教授となって英語、航海術、測量術などを教える。

藩命により後藤象二郎と長崎・上海へ赴き土佐帆船「夕顔丸」を購入。

## 江戸幕府

江川太郎左衛門 (1801~1855年)



黒船来航に当たり、海防に尽力した。万次郎を御普請役・手付けとし、蒸気船を建造。また、万次郎は乗組員に蒸気船の操帆術を指導。

勝 海舟 (1823~1899年)



幕府軍艦奉行。遣米使節の随行船 咸臨丸の艦長。万次郎に航海上のこと一切を任せた。西郷隆盛と会談、江戸城の無血開城をう。

## 福沢諭吉 (1834~1901年)



慶応義塾の創立者。蘭学を学び、のち英学をはじめた。遣米使節の派遣に際し、勝海舟と共に、威臨丸に乗り、米国へ渡った。渡米する以前より万次郎から英語を学んだと伝えられている。

## 榎本武揚 (1836~1908年)



幕末・維新期の海軍副総裁。万次郎より英語をはじめ洋学を学んだ。江戸城明け渡しに際し、軍艦8隻を率いて江戸湾を脱出、函館に入り蝦夷島政府を樹立。

## 薩摩藩

## 島津斉彬 (1809~1858年)



第11代薩摩藩主。英・仏との通商条約の締結に尽力。万次郎に米国事情を詳しく質問。捕鯨船や西洋式帆船の模型を造らせた。舟大工や技術者に造船術・航海術を学ばせた。

## 池道之助のスケッチ

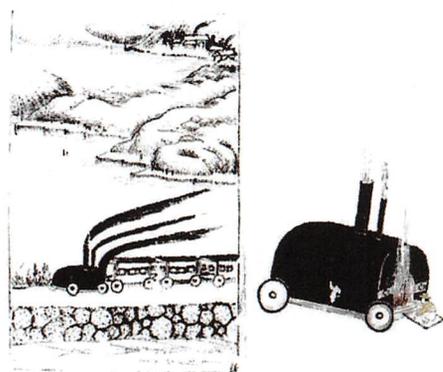
ペリー艦隊アダムス親子



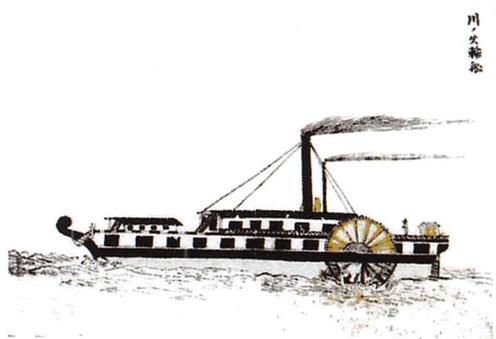
アメリカの女性・男性



レイロー (汽車)



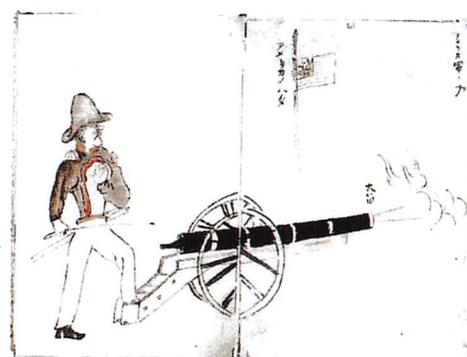
川の火輪船



鯨船・帆船



大砲



# ジョン万次郎 三大ラッキー

## 1・黒潮の大蛇行

万次郎が遭難したのは黒潮の大蛇行の年で和歌山県沖に冷水塊が発生し、沖に蛇行し鳥島漂流コースになる。

## 2・石油の発見が早やかったら

アメリカは捕鯨で鯨油を、燃料や機械の潤滑油に使っていた。1859年ペンシルベニア州で石油が発見され燃料などは石油に代わる。(捕鯨 衰退)

## 3・黒船の来日がもっと後だったら。

1853年ペリーの黒船来航で開国を迫られる。黒船が来なければ、鎖国中の日本帰国で打ち首になっていたかも知れない。

## ○ 竜馬の「新国家」と

### ジョン万次郎の「大日本属島・鳥島」

1859年「捕鯨御用」職となり捕鯨の折、二度目の鳥島上陸をして、鳥島に「大日本属島 鳥島」船長 中濱万次郎の看板を立てる。

## ○ 「エ、プルリブス、ウヌム」

ラテン語で(多くのものから作られた一つ)ジョンハウランド号の船尾に書かれている。

アメリカ合衆国国章にも表示される。オバマ大統領もよく使っていた言葉。

## ○ 咸臨丸で初めての渡米の成功は、ジョン万次郎の力

1860年通商条約締結のため初めての航海に出るが途中嵐に会い 船長勝海舟ほか皆 船酔いし、操船できたのはジョン万次郎(教授方通弁 職)と帰国便乗のアメリカの海洋調査に来ていた軍人達だけで、サンフランシスコに約束期日までに無事着くことが出来た。

## ○ アメリカを紹介した外国人として、ジョン万次郎

スミソニアン博物館で アメリカの建国理念(生命、自由、幸福の追求)を紹介した外国人功労者33人の中で日本人は ジョン万次郎 一人だった。

## ○ アメリカ30代大統領クーリッジは

「ジョン万次郎はアメリカが最初の大使を送ったに等しい」と述べている。

## ○ アメリカ32代大統領 フランクリン・デラノ・ルーズベルトから、

中濱東一郎氏(万次郎長男)に昭和8年6月8日付で親書が送られてきた。

大統領の祖父 ワレン・デラノ氏(ジョンハウランド号の所有者の一人)がフェアヘーブンの学校に通っていた 小さな日本人少年について、教会に行ったり 誠実で礼儀正しい少年であったなど いろいろなことを話してくれた。

結びに大統領は「ぜひ アメリカ合衆国に 越してください、お目にかかることを切望しています」伝言している。

土佐清水市 郷土史同好会 谷

# 万次郎・坂本龍馬・池道之助年表

西暦	年号	将軍	月日	幕府及び政府	年齢	月日	中浜 万次郎
1821	文政4年	家慶		伊能忠敬大日本地図完成			
1827	文政10年	家定		イギリス人小笠原諸島を占領	0	1月1日	万次郎悦介の次男として中浜に生まれる。
1835	天保6年	〃			8		?この年父悦介死亡
1841	天保12年	〃		水野忠邦天保の改革に着手	14	1月5日	万次郎ら5人王佐沖で遭難する。
1851	嘉永4年	〃		土佐源民中浜万次郎琉球に上陸		1月3日	万次郎、伝蔵、五右衛門ら3人、 油縄温蔵立仁間切へ上陸
〃	〃	〃			24	8月1日	鹿兒島で取り調べ
〃	〃	〃				9月29日	長崎取調べ
1852	嘉永5年	〃		ロシア船下田に来航		7月11日	高知着、土佐藩の取調べ、河田小龍「漂異記略」記す。
〃	〃	〃			25	10月5日	中浜へ帰毛(10月5日)、教授頭教授拝命 ・1人桂定小老(高知)
1853	嘉永6年	〃		アメリカ艦隊司令長官ペリー浦賀に来航		6月3日	ペリー第1回来航
〃	〃	〃			26	11月15日	江川大郎左衛門手付拝命 ・並進船長?人桂定光?の妻(若崎)
1854	安政1年	〃		ペリー浦賀に再来、日米和親条約調印。 吉田松陰艦船に生監	27	2月12日	団野鉄と結婚
1855	安政2年	〃		(日米和新条約:この条約は不平等条約と言われた)	28	1月16日	江川大郎左衛門死亡
1856	安政3年	〃		アメリカ総領事ハリス下田に着任	29	7月	ハリス米領事着任
1857	安政4年	〃	6月17日	阿部正弘没(39歳)			中浜に母見舞う。
〃	〃	〃			30	4月	軍艦教授所教授拝命。
〃	〃	〃				6月	航海書翻訳完成
1858	安政5年	家茂		井伊直弼大老となる、日米修好通商条約調印		11月22日	函館奉行所与力次席拝命
1858	〃	〃	7月15日	島津斉彬没(50歳)	31		
1859	安政6年	〃	10月27日	吉田松陰処刑	32	春	小笠原近海へ捕鯨航海
1860	万延元年	〃	1月19日	咸臨丸渡米		1月19日	咸臨丸で太平洋往復。
〃	〃	〃	3月3日	桜田門外の変(井伊直弼暗殺)	33	8月25日	軍艦教授所教授方免職
1861	文久元年	〃			34	12月3日	外国奉行・水野忠徳に同行小笠原開拓調査
1862	文久2年	〃	8月21日	生麦事件		7月21日	妻鉄病死。(3名の子を産出)
〃	〃	〃		ホーソン事件	35	12月26日	小笠原へ捕鯨航海
1863	文久3年	〃	3月13日	神戸操練所廃止			小笠原へ捕鯨航海
〃	〃	〃		薩英戦争	36		万次郎、小笠原で強盗未遂の外人 水主?名を逮捕(ホーソン事件)
1864	元治元年	〃		第1次長州征伐	37	5月	薩摩開成所教授拝命
1865	慶応元年	〃			38	5月	薩摩藩船購入の為長崎へ
1866	慶応2年	〃		薩長同盟成立		1月	万次郎中浜に帰省(薩摩から帰国)
〃	〃	〃		第二次長州征伐			母の為に家を建てる。
〃	〃	〃	8月20日	将軍家茂没(長州征伐中止)		3月	高知城下開成館出仕(高知)
〃	〃	慶喜		徳川慶喜征夷大將軍	39	7月25日	万次郎、道ノ助と共に長崎着(高知から長崎へ)
〃	〃	〃				8月26日	上海へ出発、9月6日上海から長崎着
〃	〃	〃				10月24日	万次郎、道ノ助と共に上海へ
〃	〃	〃				11月21日	万次郎江戸へ
1867	慶応3年	〃				3月18日	長崎着(江戸2月21日出発陸路大阪より船) 妻志げと3回目の結婚(5番目の男子を18年に産んでいる)
〃	〃	〃				11月11日	万次郎長崎着(夜)
〃	〃	〃				11月21日	万次郎江戸へ出発
〃	〃	〃			40		
〃	〃	〃					
〃	〃	〃	10月14日	大政奉還			
〃	〃	〃	11月15日	坂本龍馬暗殺			
1868	明治元年	有栖川宮	1月	戊辰戦争		10月23日	土佐藩に100石で召抱えられ、江戸深川砂村に下屋敷を賜る
〃	〃	〃	4月	江戸城開城			
〃	〃	〃	7月	江戸を東京と改称			
〃	〃	〃	9月	明治と改元し江戸城を皇居とする			
1869	明治2年	〃	6月	藩主の版籍奉還を許し、知藩事に任命		3月	開成学校2等教授
〃	〃	〃	2月	府県に小学校設置	42		
1870	明治3年	〃	10月	海軍を英式、陸軍をフランス式と布告			開成学校中博士
〃	〃	〃	10月	岩崎弥太郎九十九商会(三菱商会)設立			大山弥介、池田弥一、林有三に随行し欧州へ
〃	〃	〃	12月	新律綱領頒布、庶民の帯刀禁止	43		
1871	明治4年	三条実美	7月	廃藩置県			病氣
〃	〃	〃	11月	岩倉具視ら欧米を視察	44		
1872	明治5年	〃	九月	新橋横浜間鉄道開業			病氣
1898	明治31年	〃			71		万次郎死亡享年(数え72歳)

土佐清水市郷土史同好会

山下 晃弘

西暦	年号	将軍	年齢	月日	坂本 龍馬	年齢	月日	池 道之助
1821	文政4年	家慶				0		池左平の長男として中浜に生まれる。
1827	文政10年	家定				6		
1835	天保6年	〃	0	11月15日	直足の次男として、高知本町筋に生まれる。	14		
1841	天保12年	〃	6			20		
1851	嘉永4年	〃						
〃	〃	〃	16			30		
〃	〃	〃						
1852	嘉永5年	〃	17			31		
〃	〃	〃						
1853	嘉永6年	〃	18		剣術修行の為溝淵広之丞と江戸に行く。	32		
〃	〃	〃			北辰一刀流千葉定吉道場入門。			
1854	安政1年	〃	19	6月	江戸から帰国。河田小龍に会う。	33		
1855	安政2年	〃	20			34	6月	雇い足軽拝命
1856	安政3年	〃	21			35		
1857	安政4年	〃						
〃	〃	〃	22			36		
〃	〃	〃						
1858	安政5年	家茂	23	1月	千葉定吉より「北辰一刀流兵法目録」を受ける。	37		
1858	〃	〃						
1859	安政6年	〃	24			38		
1860	万延元年	〃	25			39		
〃	〃	〃						
1861	文久元年	〃	26	9月	土佐勤皇党に加盟	40		雇い足軽辞任
1862	文久2年	〃	27	3月	沢村惣之丞と脱藩。	41		
〃	〃	〃		10月	勝海舟の海軍塾に入る。			
1863	文久3年	〃	28	2月	勝海舟の尽力で脱藩罪許される。	42		
〃	〃	〃		11月	土佐藩の帰国命令を拒否し再び脱藩罪。			
1864	元治元年	〃	29		海舟との関係で西郷隆盛、横井小楠と会う	43		
1865	慶応元年	〃	30	5月	長崎に「亀山社中」設立(薩摩藩が後ろ盾)。	44		
1866	慶応2年	〃		1月21日	薩長同盟成立(京都)		1月	万次郎薩摩から帰国、 母の家を建てるため道之助の家に寄宿
〃	〃	〃		1月24日	寺田屋事件(京都)			
〃	〃	〃		3月10日	西郷の招きで、お龍を伴って薩摩へ (長崎経由)	45	3月25日	道之助万次郎と供に高知へ
〃	〃	慶喜	31				7月7日	後藤象二郎、万次郎と供に長崎出発
〃	〃	〃		5月2日	桜島丸長州の米を積み鹿児島へ随行の ワイルエフ号沈没(鹿児島)		7月25日	万次郎・道之助長崎着
〃	〃	〃		6月17日	桜島丸長州に武器を運び門司を攻撃、 小倉城から細川藩引揚げる。		10月24日	道之助万次郎と供に上海へ
〃	〃	〃					11月18日	上海から帰国
〃	〃	〃					12月17日	御臨時御用商会掛拝命
1867	慶応3年	〃		2月	亀山社中から海援隊(土佐藩)へ(長崎)		2月2日	清風亭で宴会「お元」も同席
〃	〃	〃		4月	2度目の脱藩罪許される。(長崎)		4月19日	いろは丸大阪に出航
〃	〃	〃		4月23日	いろは丸紀州藩明光丸と衝突		4月29日	いろは丸紀州船と衝突
〃	〃	〃		6月	藩船夕顔の船中で「船中八策」。		5月10日	坂本龍馬今晚長崎着
〃	〃	〃	32	7月6日	イカルス号事件で海援隊員に疑いをかけられる	46	7月6日	丸山で異人2人切られる
〃	〃	〃		10月13日	紀州藩に8万3千両賠償とす事で決着。		10月13日	紀州藩といろは丸の賠償交渉決着
〃	〃	〃		9月10日	イカルス号事件で海援隊員無罪。		9月10日	今日横濱の1件相済む
〃	〃	〃		9月	6年ぶりに土佐に帰る。		11月4日	紀州藩から3千両受取る
〃	〃	〃		10月14日	大政奉還		11月12日	紀州藩から80万両受取る
〃	〃	〃		11月15日	龍馬、中岡、近江屋で暴漢に襲われる。(死亡)		11月15日	15日御隠居これより購買二行小柄共
1868	明治元年	有栖川宮					4月8日	五時蒸気船夕顔に乗船五時半長崎出帆。
〃	〃	〃					4月15日	高知着
〃	〃	〃					同4月11日	貨殖局下代長崎表懸足軽類二人扶持拝命
〃	〃	〃					5月17日	中浜着
〃	〃	〃					8月7日	中浜から高知へ(8月17日着)
1869	明治2年	〃					1月2日	清水浦着
〃	〃	〃					4月26日	貨殖局辞任(病気のため)
1870	明治3年	〃						病気
〃	〃	〃						
〃	〃	〃						
1871	明治4年	三条実美					11月	越浦、養老両村長就任
〃	〃	〃						
1872	明治5年	〃					4月21日	越浦・加久見・横道三ヶ所の村長就任
1898	明治31年	〃					7月16日	道之助病死 享年52才(数え年)

# 土佐清水の町歩き

## 蓮光寺

### 蓮光寺新聞

清水小5年 原彩茶

# 土佐清水歴史新聞

萬次郎探検隊  
2018年6月8日

## 歴史新聞

清水小5年 原彩茶

### 年号のきたところ

年号は中国から伝えられたことが知られて、これに関連して、去年4月、年号が変わるので楽しみです。

### 2018年になたわけ?

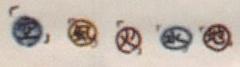
イエス・キリストが生まれた年を紀元とするようにして2018年になたということを知ります。



土佐清水新聞 2018 (平成30年) 6月22日 (金) 清水小5年 山崎さくら

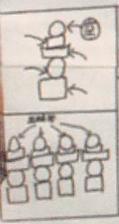
### 加久見にある五輪塔

一たん一たん五大要素がある。



### 歴史を知って感じたこと

上田のめがけさんが、どんな活やくしたのが調べて分かりました。今のほえ町の八幡神社の西側に全うめ立て地で中央町とかをうめ立てたのが開いたことがあり、いろいろ知れてよかったです。



### 524年前の名号板石尊

#### 清水の歴史新聞

今日の勉強で分かったこと

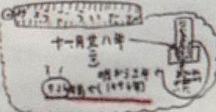
今日の勉強で感じたことは、加久見にも歴史があったのだなと思いました。

蓮光寺の伽藍が、昔の清水の歴史を物語っています。

奥田中山達志出土の青じり



中国の青銅器に属し、西海をわたって輸入された。



2010年に21世紀12世紀の西暦は、イエス・キリストが生まれた年を0年と定めます。

蓮光寺の伽藍が、昔の清水の歴史を物語っています。



大元 年開

清水小5年 原彩茶



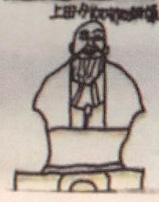
上田亀之助

### 清水の町造り

### 小江町新聞

清水小5年 原彩茶

上田のめがけさんの、どんな活やくしたのが調べて分かりました。今のほえ町の八幡神社の西側に全うめ立て地で中央町とかをうめ立てたのが開いたことがあり、いろいろ知れてよかったです。



### 歴史新聞

清水小5年 原彩茶

### 歴史を知って感じたこと

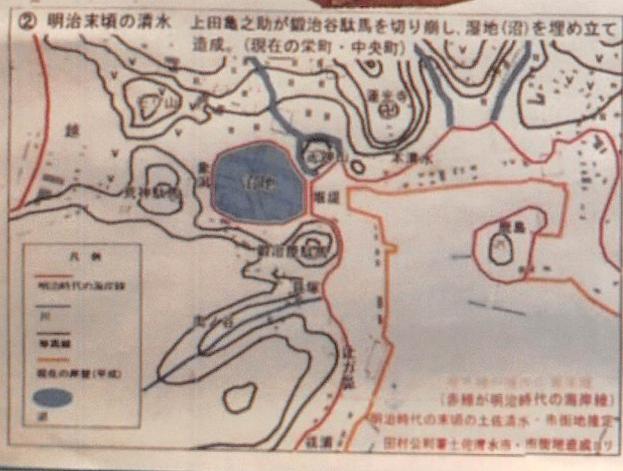
上田のめがけさんの、どんな活やくしたのが調べて分かりました。今のほえ町の八幡神社の西側に全うめ立て地で中央町とかをうめ立てたのが開いたことがあり、いろいろ知れてよかったです。

年号は中国から伝えられたことが知られて、これに関連して、去年4月、年号が変わるので楽しみです。

2018年になたわけ? イエス・キリストが生まれた年を紀元とするようにして2018年になたということを知ります。

### 加久見にある五輪塔

一たん一たん五大要素がある。空、風、火、水、地。







## 大統領からの手紙 その最初の始まり

親愛なる中濱博士

1933年6月8日

石井菊次郎子爵（駐米大使）が当ワシントンにお見えの時、あなたが、東京に住んでおられることを知り、あなたの有名なお父様について話し合いました。あなたはご存知ないかも知れませんが、私はフェアヘブンのワレン・デラノの孫です。彼はお父様をフェアヘブンにお連れした ホイットフィールド船長の船の所有者の一人です。

私の記憶によると、あなたのお父様は私の祖父の家のすぐ筋向いのトリップさんの家に住んでおられました。

私の少年の頃、私の祖父がフェアヘブンの学校に通い、時々デラノの家族と一緒に教会に行った小さな日本の少年について いろいろなことを私に話してくれたのを よく覚えています。私自身もフェアヘブンにはよく行きました。私の母方の家族はいまだに古い家を持っております。

中濱という名前は私の家族の記憶にいつまでも残ることでしょう。あなたか ご家族のどなたかが合衆国においでの際は、是非、お立ち寄り下さい。

敬具

フランクリン・D・ルーズベルト

THE WHITE HOUSE  
WASHINGTON

June 8, 1933.

My dear Dr. Nakahama:-

When Viscount Ishii was here in Washington he told me that you are living in Tokio and we talked about your distinguished father.

You may not know that I am the grandson of Mr. Warren Delano of Fairhaven, who was part owner of the ship of Captain Whitfield which brought your father to Fairhaven. Your father lived, as I remember it, at the house of Mr. Tripp, which was directly across the street from my grandfather's house, and when I was a boy I well remember my grandfather telling me all about the little Japanese boy who went to school in Fairhaven and who went to church from time to time with the Delano family. I myself used to visit Fairhaven, and my mother's family still own the old house.

The name of Nakahama will always be remembered by my family and I hope that if you or any of your family come to the United States that you will come to see us.

Believe me, my dear Dr. Nakahama,

Very sincerely yours,

Dr. Toichiro Nakahama,  
Tokio,  
Japan.



## おわりに

万次郎が生まれ育った幕末の中浜は、鯨漁と日本一の鯨節生産の拠点として活気にあふれる浦であった。

また、窪津の勇壮な捕鯨は少年万次郎にとっても身近なものであったに違いない。一方、鯨油の需要のため日本近海には多くのアメリカの捕鯨船が出没していた。

天保十二年（1841）出漁した万次郎らの鳥島への漂着と、アメリカの捕鯨船ジョンハウランド号との出会いは世界史上、必然の出来事であったのではないだろうか。

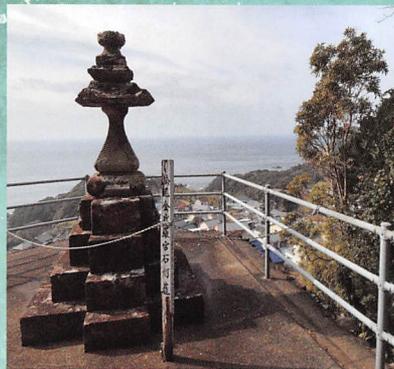
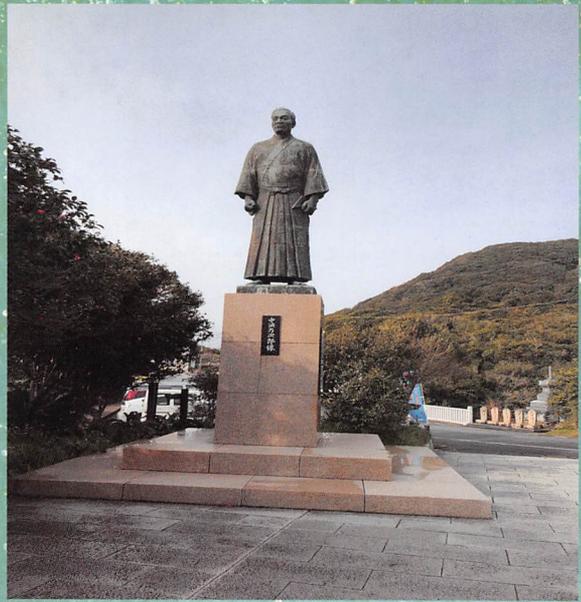
鳥島で救助された万次郎たちは運命を主体的に切り開き、漂流から10年後帰国した。

万次郎は西部劇の時代のアメリカで英語や航海術を習得し、海の男としてたくましく成長していた。

嘉永六年（1853）の黒船来航時、万次郎は最新のアメリカ事情と知識を伝え、日米和親条約締結と明治維新に尽力し、その後71歳の天寿を全うした。

万次郎が 武士階級出身の志士たちとは異なる国際連帯の視点から、日本の開国と近代化に役割を果たしたことは再評価されるべき点である。

土佐清水市郷土史同好会 顧問「土佐清水市文化財保護審議会会長」東 近 伸



発行 平成 31 年 3 月 31 日

土佐清水からの発信

～中浜万次郎の足跡～

土佐史談会

土佐清水市郷土史同好会

